

## NIH、救急医療研究室を新設（7月31日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health：NIH）は31日、基礎・臨床及びトランスレーショナルな救急医療研究及び訓練に関する NIH 内の活動を調整し促進する「救急医療研究室（Office of Emergency Care Research：OECR）」を国立一般医科学研究所（National Institute of General Medical Sciences：NIGMS）内に新設したことを発表した。

OECR は助成金の拠出は行わないが、救急医療分野と同分野の研修生の訓練においてイノベーションと改善を促進するために、①複数の NIH 研究所やセンターが関与する資金提供の機会を調整する、②救急医療研究ワーキンググループ（NIH Emergency Care Research Working Group）と密接に協力する、③新しい研究・訓練機会を特定するための科学的会議を実施する、④新たな助成提供機会を創造する、⑤研究者に対し、関心分野における助成制度について通知する、⑥救急医療研究の研修生のためのキャリア開発を促進する、⑦国家の救急医療システムを改善するための連邦政府全体での取り組みにおいて NIH を代表する、といった役割を担うこととなる。

なお、OECR の室長が決定するまでは、国立神経疾患・脳卒中研究所（National Institute of Neurological Disorders and Stroke：NINDS）の副所長であるウォルター・コシェッツ博士（Walter J. Koroshetz）が室長代理を務めることになっている。

National Institutes of Health, NIH creates Office of Emergency Care Research

<http://www.nih.gov/news/health/jul2012/nih-31.htm>